

2020年8月6日

各 位

会 社 名 BEENOS 株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
(コード番号 3328 東証一部)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年4月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」に開示した2020年9月期(2019年10月1日～2020年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年9月期連結業績予想値の修正(2019年10月1日～2020年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,500 ～26,000	百万円 2,350 ～3,140	百万円 2,350 ～3,140	百万円 1,400 ～1,900	円 銭 112.00 ～152.00
今回修正予想(B)	24,500 ～26,000	2,750 ～3,140	2,700 ～3,140	1,600 ～1,900	128.41 ～152.49
増減額(B-A)	1,000 ～0	400 ～0	350 ～0	200 ～0	16.41 ～0.49
増減率(%)	4.3 ～0.0	17.0 ～0.0	14.9 ～0.0	14.3 ～0.0	—
(参考) 前期連結実績 (2019年9月期)	25,276	1,707	1,713	1,077	89.58

2. 修正の理由

今後の見通しについて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による足元の業績の状況および今後の見通しを踏まえ、2020年4月28日に発表した2020年9月期連結業績予想のレンジを修正いたします。

各セグメントごとの新型コロナウイルスの影響および今後の見通しは下記の通りです。

E コマース事業

・クロスボーダー部門：国際配送において、一部の地域で出荷引受の停止や出荷の遅延が発生していましたが、独自の物流サービスのリリースを加速させると共に、出荷引受の再開および遅延の解消が進みました。また、世界的なデジタルシフトが進む中で、受注は好調に推移しております。

・バリューサイクル部門：第2四半期におきましては、外出自粛要請に伴う買い控えにより売上の減少がみられましたが、5月下旬から回復傾向にあります。また広告宣伝費のコントロールが寄与し営業利益率が改善傾向にあります。

・リテール・ライセンス部門：引き続きイベント開催の見通しが不透明であり、今期中のイベント開催はないものとして見込んでおります。一方でECによる売上は増加傾向にあります。

インキュベーション事業

第3四半期において営業投資有価証券の売却を行いました。第4四半期における営業投資有価証券の売却については引き続き不確実な状況であると考えております。

(注) 本リリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以上